

地域医療構想に係るインターネットモニターアンケート結果概要

1 調査目的

地域医療構想の策定に当たり、地域の医療提供体制について意見を伺い、今後の取組の参考とする。

2 調査内容

- ・「地域医療構想」、「地域包括ケアシステム」の認知度
- ・よく行く医療機関までの距離（近さ・遠さ）
- ・住んでいる地域の医療機関の整備状況
- ・今後充実を望む医療
- ・「かかりつけ医」の有無
- ・高齢期に医療や介護が必要となった時に過ごしたい場所
- ・人生の最終段階を迎えたい場所
- ・自宅で医療や介護を受けることができる体制の推進
- ・地域の医療・介護の提供体制

3 調査方法

- (1) 調査対象：県政インターネットモニター 計 507 名
(県内に在住又は通勤・通学している満 15 歳以上の方)
- (2) 調査期間：平成 27 年 10 月 20 日から 11 月 2 日まで（14 日間）
- (3) 回答方法：インターネットによる回答

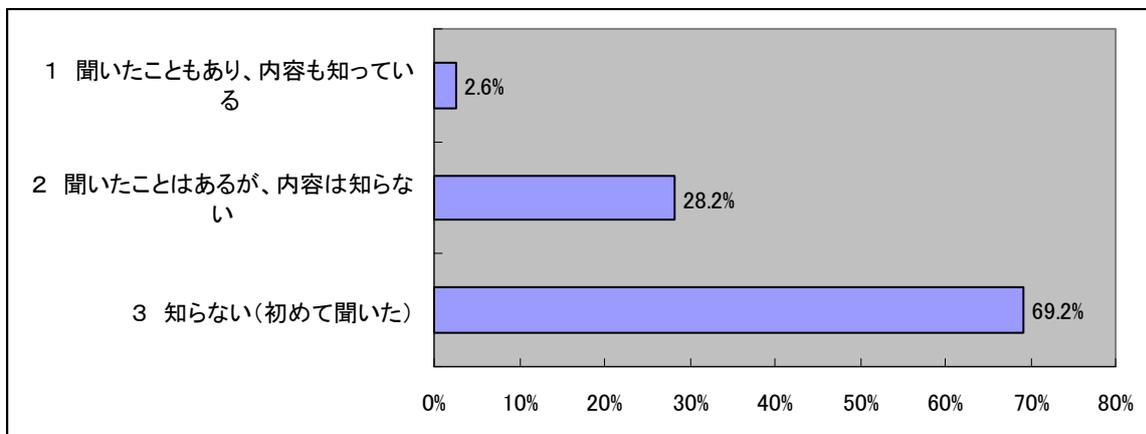
4 回答者数：454 人（回答率：89.5%）

5 回答者の属性

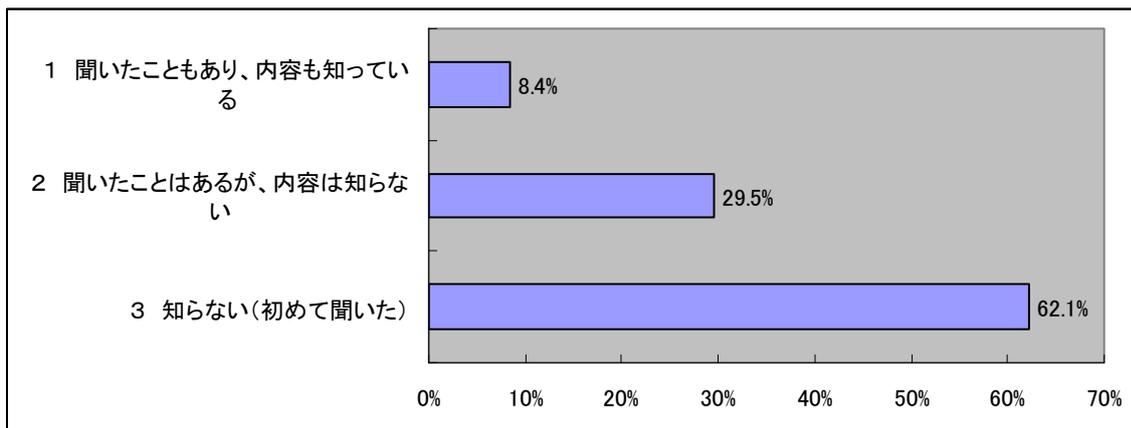
	区分	回答者数	%
性別	男性	230	50.7%
	女性	224	49.3%
年代	10 代	4	0.9%
	20 代	15	3.3%
	30 代	78	17.2%
	40 代	118	26.0%
	50 代	97	21.4%
	60 代	85	18.7%
	70 代	53	11.7%
	80 代	4	0.9%

6 調査結果概要

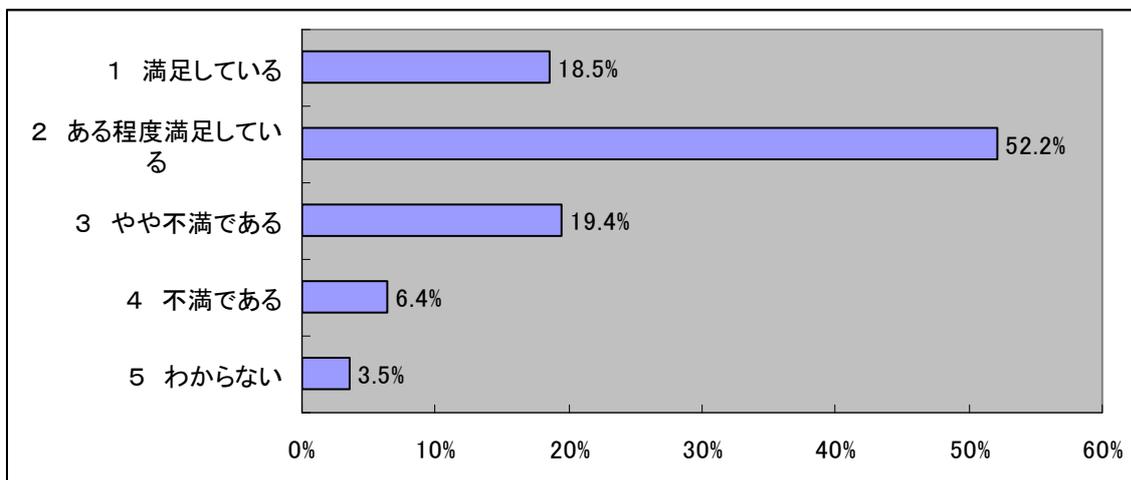
問1 あなたは、都道府県が今年から策定を進めている「地域医療構想」を知っていますか。(回答数は一つ)



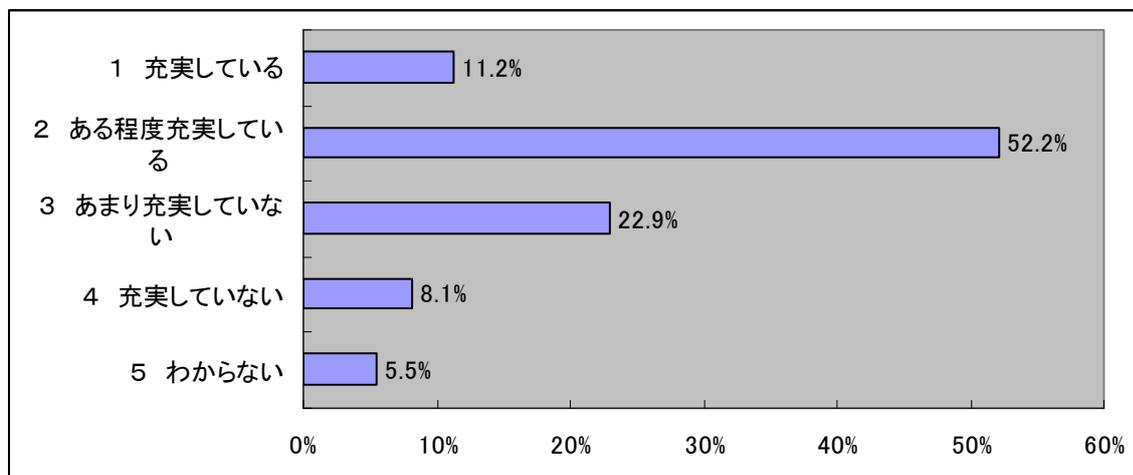
問2 あなたは、市町や都道府県が構築に取り組んでいる「地域包括ケアシステム」を知っていますか。(回答数は一つ)



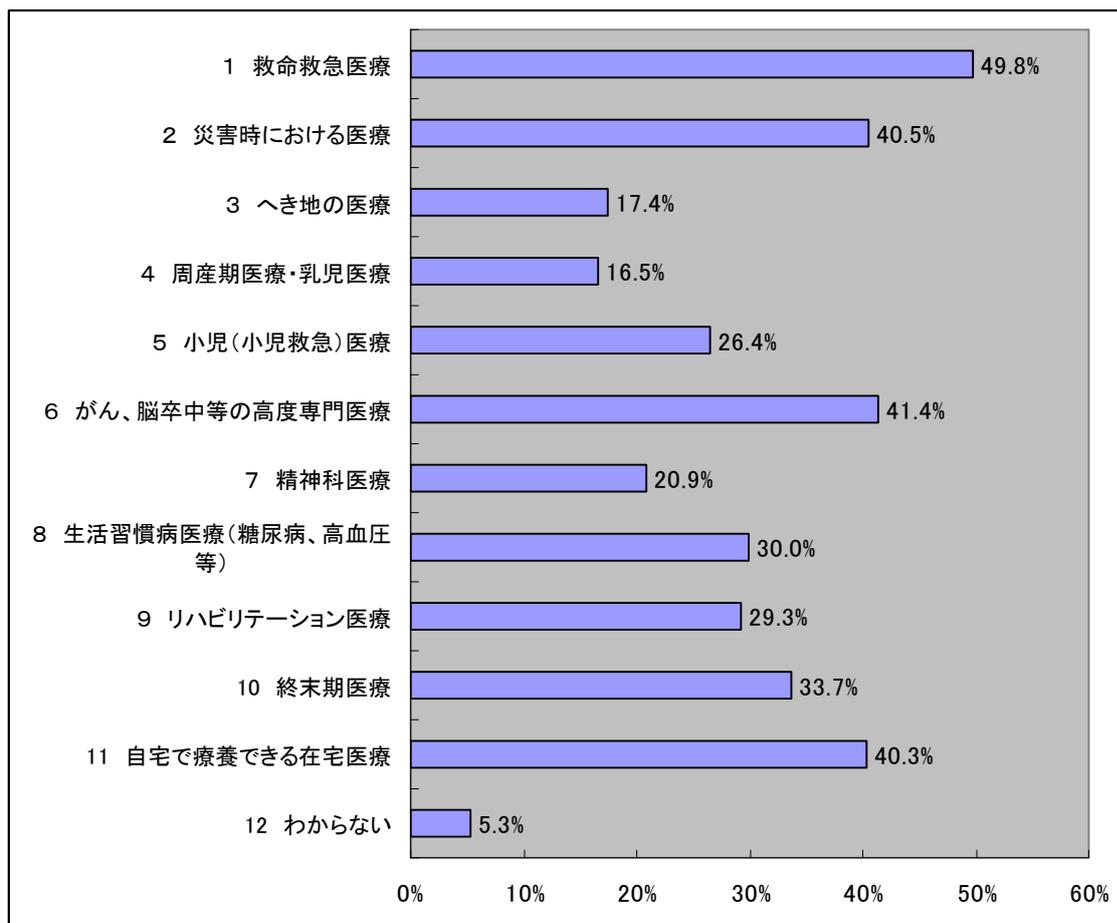
問3 あなたは、よく行く医療機関までの距離(近さ・遠さ)について、どう思われますか。(回答数は一つ)



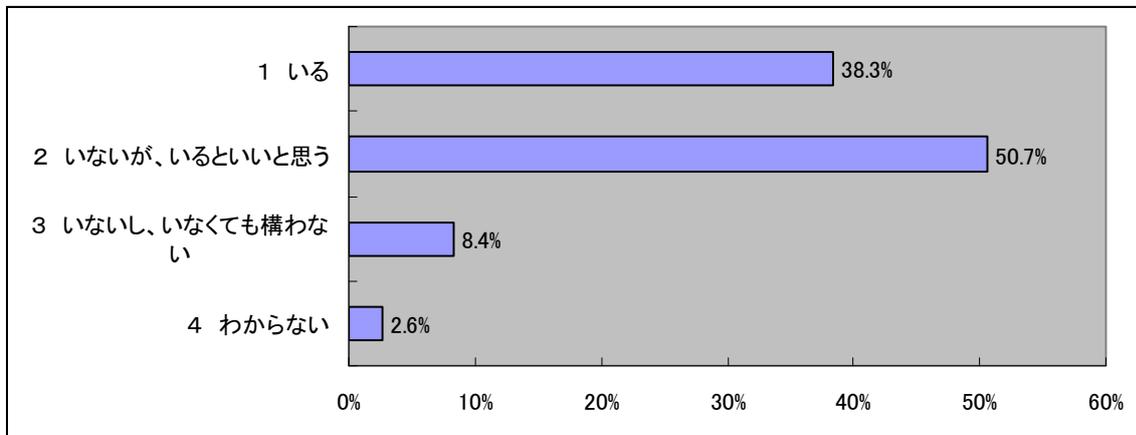
問4 あなたは、住んでいる地域の医療機関の整備状況について、どう思われますか。(回答数は一つ)



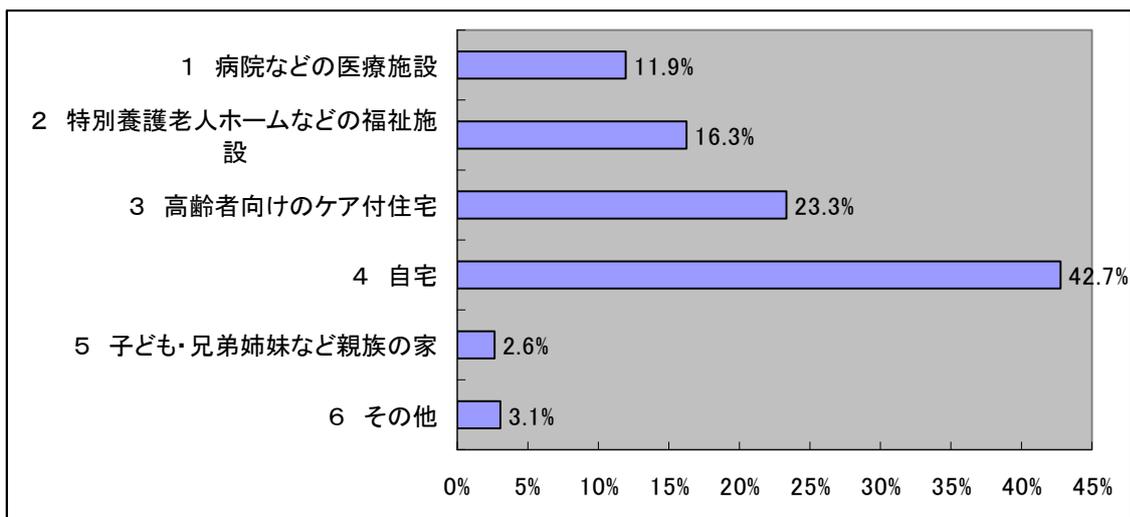
問5 あなたが今後、充実を望む医療は何ですか。(いくつでも可)



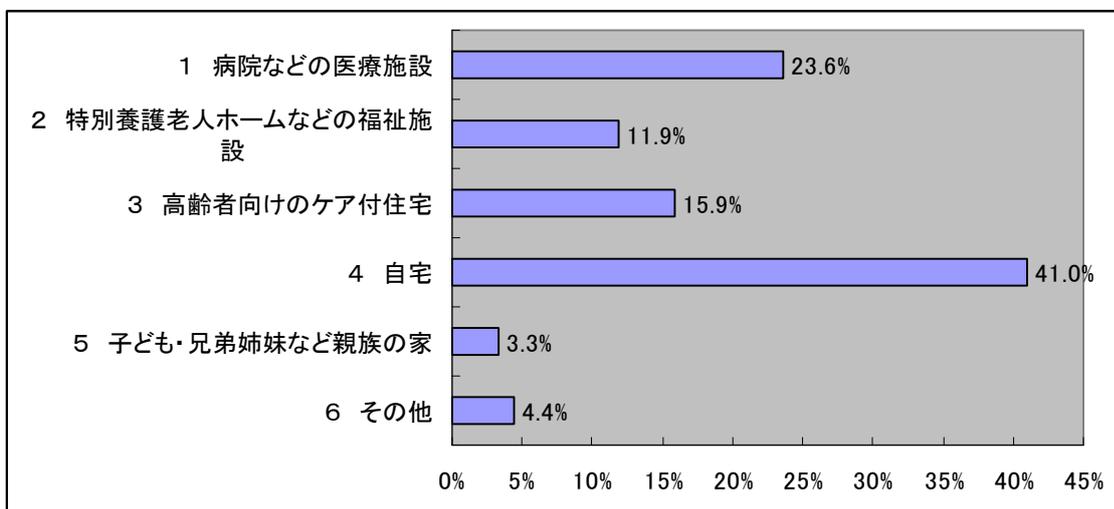
問6 あなたには、日頃から身近で相談にのってもらえる「かかりつけ医」がいますか。(回答数は一つ)



問7 あなたは、高齢期に医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいですか(回答数は一つ)

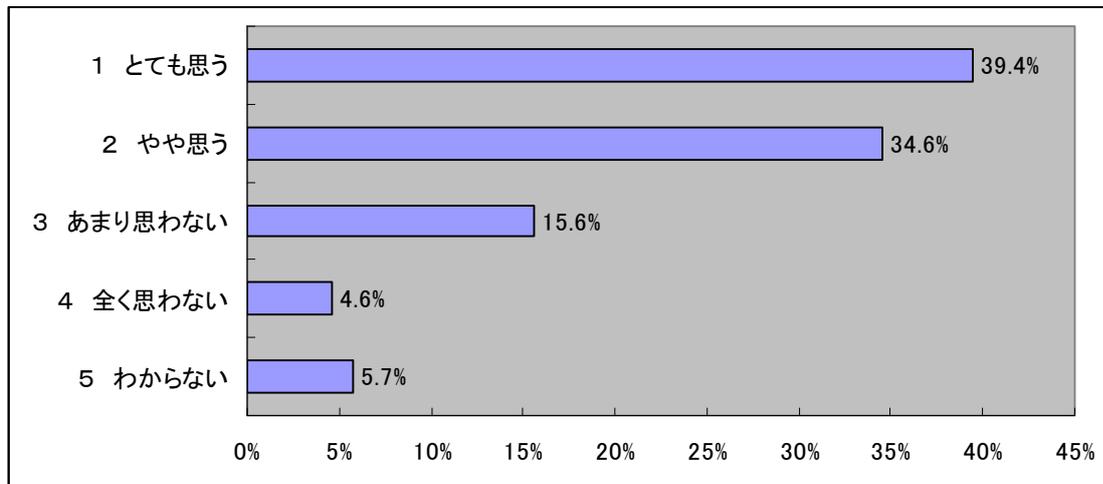


問8 あなたが高齢となって、日常生活が困難となり、治る見込みがない病気になった場合に、最期はどこで迎えたいですか(回答数は一つ)



問9 あなたは、自宅で医療や介護を受けることができる体制を推進するべきだと思いますか。

(回答数は一つ)



問10 2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、医療・介護を必要とする方がますます増加すると考えられます。このような中で、地域の医療・介護の提供体制はどうあるべきか、御意見等がありましたら御記入ください。(自由意見)(抜粋)

(抜粋)

- ・自宅での医療・看取りを過度に理想化するべきでなく、効率的な運用にするべき(30代:男性)
- ・全ての高齢者が最期を病院で迎えることは、これからの高齢化社会の中で物理的に無理があると思う。在宅でもケアが行き届く医療体制の整備を進めるべき。(30代:女性)
- ・訪問専門医があってもいいと思う。(30代:女性)
- ・医療機関への往復が後期高齢者や重症患者は大変だと思う。(40代:男性)
- ・予防、健康増進についてもっと考えるべきではないか。(40代:女性)
- ・低所得者でも介護が受けられる(施設に入居できる)体制を整えてほしい。(40代:女性)
- ・自宅で、子どもや家族の力を借りず最期を迎えられる医療介護体制があればいい(40代:女性)
- ・かかりつけ医や見守り医のような近所に頼れる医療体制の充実(50代:男性)
- ・経済的な事も含め、たくさんの選択肢があればいい。(50代:女性)
- ・一人暮らしの人が増えていると思うので、気付きを早くできるといい。(50代:女性)
- ・子供には負担をかけたくないので病院や特養ホームなど施設を充実してほしい。(60代:男性)
- ・自宅で亡くなられた方を見てきたが、夫婦だけでは警察から「変死」扱いを受け大変な思いをした。人生の最期には警察の厄介にならず、安らかに医療関係者に診てほしい。(60代:男性)
- ・最期を「自宅」か「医療機関等」かは中々判断ができないが、自宅を希望する人の絶対数は間違いなく増えるのだから、今から体制の準備に取り掛かるべき。(60代:男性)
- ・医師 介護士不足が不安(60代:女性)
- ・一人暮らしの高齢者対策を充実してほしい。(70代:男性)
- ・循環バスなど交通のネットワークは病院を中心にしたものに。(70代:男性)
- ・家族に迷惑をかけないで医療・介護を受けたい。(70代:男性)
- ・自分の周囲に老老介護の家庭がだいぶあるが、なかなか困難な状況を伝えようとしない。こうした声をあげない老人家庭に行政は眼を向けてほしい。(70代:女性)